

2-1

第1回調整会議

会場：市民プラザ第4会議室

2014年1月22日(金)

重ね使いに関する主な意見

- リハーサル室
 - 鏡があれば大人数で利用できる楽屋にもなる
 - 公民館利用者も利用を希望する
 - 遮音性能があれば、多目的室をリハーサル室として使うことができる
- 練習室（音楽練習室）
 - 大きな部屋を区切って使用する際の遮音性能が心配である
 - イベント時などは楽屋にもなる
 - 中高生達の音楽練習のニーズが見込まれている
- 会議室
 - 会議室を団体の着替え室として一時的に使用する事も考えられる
 - ピクチャーレールなどを付けて展示室としても利用できるのではない
- 楽屋
 - 大人数で利用できる楽屋が必要である
 - ステージと楽屋の近接、利用しやすいアクセスを希望する
 - イベント時にはバックヤードが必要となる
- 和室
 - 中高校生達の利用は放課後であり、昼間の活動と重ならず効率的な利用が検討できるのではない
 - 臨時の一時預かり室としても利用できるのではない
- 多目的室
 - 遮音性能の程度によって重ね使いのできる使い方が変わってくる
- スタジオ（軽運動室）
 - 重ね使いの対象にできないのではない
- プレイルーム
 - 子どもの遊具が設置されている状態で、他の機能としても利用できるかは疑問である
 - 衛生上、0~3歳児のプレイルームの重ね使いは難しい（使用後の消毒等）
 - 4~5歳児利用のプレイルームについては検討する

調整会議は公民館施設機能、こども施設機能、ホール施設機能を1つの施設にすることから各施設の意見を市民自ら調整する場として設置された。第1回調整会議では、はじめに各部会での議論の内容が報告され、各部会における2回のワークショップの結果から3部会共通に上がった「部屋の重ね使い」「共用機能」について議論された。ファシリテーターからも「各部会において話し合われた内容及び市に寄せられた意見の要望をそのまま設計に反映すると、当初の計画の2~3倍の面積になる可能性がある。上手な重ね使いを考える必要がある」と説明があった。

公民館部会からは、市民の交流発信の場としての機能と活動を広げるために若い世代にも利用対象を広げたい。そのためにも一時預かり機能が必要であるという意見があった。

共用に関する主な意見

- 一時預かり室
 - 短時間の預かりのニーズがある
 - 対象者を施設利用者に限らず広げた方が、運営上望ましいのではない
- ロビー・ラウンジ、ホワイエ
 - 用事がなくともふらっと来て利用ができる空間を希望する
 - 必ずしも部屋ごとの利用ではない、気軽な利用ができるといい
- 展示ギャラリー
 - ラウンジ等共用スペースでの作品展示は、管理について検討の必要がある
 - 公民館活動の人の為だけではなく、一般の人への貸し出しも検討が必要
- 屋外スペース
 - 子ども達にとって安全な屋外遊びスペースを希望する
 - 公園利用者も利用できるトイレや雨宿りが出来る空間を希望する
- 駐車場
 - 施設周辺に既存で約600台、今回の施設として更に150台を計画している
- 給湯
 - こども施設は専用の給湯室が必要である
- ロッカー
 - 公民館利用者の道具置きと一時利用者向けの2種類の検討をする

とや、特定の部屋や時間に利用が重ならないような仕組み等、管理運営にも踏み込んだ内容が述べられた。こども部会からは、全国から視察がくる先進的な上越市のこどもセンターの引越してもある今回の新施設建設なので更に良いものにした、という意気込みが述べられた。ホール部会からは、重ね使いと部屋の遮音性能等の問題についての議論の他、各機能をうまく共有して合築のメリットを生かせる施設を期待している、等の意見が報告された。議論の中で「新施設は既存施設よりも部屋数が減る事を懸念され、効率的な利用が出来る仕組みを考え、利用が重ならないように考案しなければならない」「公園全体で一般的に利用できる施設にしたい」「ホールでのイベント開催時」子どもがいても気兼ねなく音楽を聞ける親子室の設置の検討したい」などの意見も出され、新たに全体で共有した。

(詳細は、市のホームページをご覧ください)

視察

先進地の視察

視察先：長野県茅野市（茅野市民館／茅野市こども館）

2013年12月22日(日)

ワークショップ参加者から希望者を募り、第1回ワークショップの後、先進地の視察として長野県茅野市にある「茅野市民館」及び「茅野市こども館（CHUKOらんどチノチノ/0123 広場）」を見学した。中庭とホールの一体的な使い方が印象に残った、中高生の活動が印象的であった、ホールの可動席が思っていたより質のいいものであることを知った、等の意見が聞かれた。茅野市民館は、計画段階から管理運営に至る段階まで数多くのワークショップが行われ、市民参加で作り上げられた公共施設であり、



0123 広場
プレイルーム 1

チノチノ
本棚とラウンジ

茅野市民館
中庭と施設外観

0123 広場
プレイルーム 2

チノチノ
調理スペース

茅野市民館
施設の方の解説

市民に愛される施設となった事例である。

この視察の内容及び施設の特徴は第2回ワークショップにおいて、視察に同行できなかった各部会の参加者にも報告された。